

ニッカリ

モップ式(車輪付)草刈機



取扱説明書

MP-262
MP-331



このたびは、モップ式草刈機をお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。



ご使用前に必ずこの取扱説明書をよく読んで正しく
作業してください。



取扱説明書は大切に保管してください。

目 次

重要なお知らせ	1
本体と付属品・添付品	2
1. 安全上の注意	
1.1 警告表示について	3
1.2 警告表示マーク	4
1.3 安全にご使用いただくために	5
2. 各部のなまえ	
.....	12
3. 組立て	
3.1 本機の取り付けと調節	13
4. 始業前点検と試運転	
4.1 定期点検表と注意事項	15
4.2 始業前点検	15
4.3 試運転と調整	18
5. 移動と作業前準備	
5.1 移動するとき	19
5.2 作業時の服装	19
6. 運転方法	
6.1 始動のしかた	20
6.2 停止のしかた	22
7. 操作方法	
.....	23
8. 作業終了後	
.....	25
9. 点検整備	
9.1 定期点検表と注意事項	26
9.2 10 時間毎点検	27
9.3 20 時間毎点検	28
9.4 50 時間毎点検	29
10. 保管	
10.1 日常の保管	30
10.2 長期保管	30
11. 故障と対策	
.....	31
12. 付表	
12.1 主要諸元	32
13. 保証とアフターサービス	
.....	34



重要なお知らせ

- 本製品は、草刈作業のみに使用してください。
改造や使用目的以外の作業はしないでください。改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になります。
また、部品は必ず純正部品を使用してください。
- 本書は、MP262、MP331の2機種を共用して説明しています。
- 機種によって使える機能や操作が一部異なります。本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は、取扱い上の注意事項および製品の使用方法について記載しております。ご使用前には必ず熟知するまでお読みいただき、正しくご使用ください。
- ご使用後、必ず製品と一緒に、この取扱説明書も保管し、分からぬことがあった場合等、内容を確認してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げ先にご注文ください。
- この刈払機は、国内での使用を前提にしています。したがって、海外諸国での安全規格等の適用・認定等は実施していません。この刈払機を国外へ持ち出した場合に当該国での使用に対し、事故等による補償等の問題が発生することがあっても、当社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。
- 本製品を譲渡または貸与する場合は、取扱説明書の内容を十分理解してから作業されるよう指導し、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書は版権を有します。この取扱説明書の全体もしくは部分的にも、当社の事前の文書による同意なしに複写、コピー、翻訳してはならず、また読み取りのできるいかなる電子装置や機械にも転写しないでください。
- この取扱説明書の内容は、品質・性能向上あるいは安全上、変更を行うことがあります。その際は、本書の内容およびイラスト等の一部が、本製品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 部品のご入用、故障の場合、ご不明な点がありましたら、お買い上げ先へお問い合わせください。

本体と付属品・添付品

本体と付属品・添付品を確認してください。万一、不備な点がございましたら、お買い上げ先へお申し付けください。

◆本体と付属品

<input type="checkbox"/> 本機 	<input type="checkbox"/> 保護メガネ 	<input type="checkbox"/> ソケット、ドライバ 13×19
	<input type="checkbox"/> L レンチ 4mm 	

◆添付品

<input type="checkbox"/> 取扱説明書（本書） 	<input type="checkbox"/> 保証書 	<input type="checkbox"/> エンジン取扱説明書
<input type="checkbox"/> 大旋風説明書（MP262） 	<input type="checkbox"/> AUTO4 説明書（MP331） 	

1. 安全上の注意

1.1 警告表示について

本刈払機を正しくお使いいただくために、この取扱説明書の指示に従って操作・保守を行ってください。

また、刈払機で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルを貼付しています。取扱説明書および警告ラベルでは、危険の程度を表す方法として次の表示で区分しています。

◆表示の説明

危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。
◆	知っておくと役に立つ情報や便利なこと等を示します。
お願い	製品のために守っていただきたいことを示します。

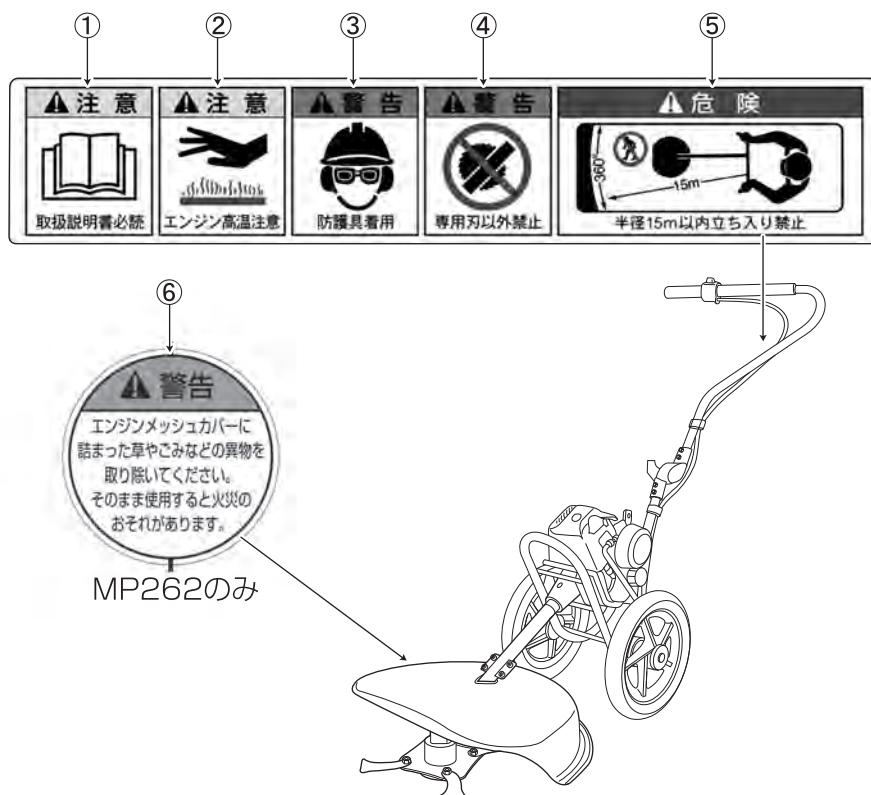
◆図記号の意味

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味で区分しています。

(例) 	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。 (左図の場合は爆発注意)
(例) 	禁止行為	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。 (左図の場合は立入禁止)
(例) 	強制行為	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。 (左図の場合は防護具着用)

1.2 警告表示マーク

- 本製品には、下記の警告ラベルが貼付してあります。ご使用前に、必ずよく読み、注意に従ってください。
- 警告ラベルは汚れや破損のないようにしてください。万一、ラベルが読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替え、常にマークが読めるようにしてください。
新しいラベルはお買い上げ先で購入してください。



①	使用前に取扱説明書を必ず読み、理解してください。
②	エンジンが高温になるので、ヤケドになる為、エンジンには触れないで下さい。
③	作業中は目や耳、頭部の保護具を必ず着用してください。
④	危険ですので、専用刃以外を使用しないでください。
⑤	作業中は、半径 15 m 以内に人、動物を入れないでください。
⑥	エンジンメッシュカバーに、詰まった草やごみなど、取り除いてください。そのまま放置すると、火災の恐れがあります。

1.3 安全にご使用いただくために

本機を安全にご使用になるための注意事項を記載しています。よく読んで理解し、必ず守ってください。

■ 全般的なこと

⚠ 危険



長袖、長ズボンを着用し（袖じまり、裾じまりのよいもの）、頭部にはヘルメット等、JIS等の規格に合格した保安帽を着用してください。また、手袋、保護メガネ、耳栓を付け、足もと保護のため保護靴を履いてください。

※ 転倒、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 警告



草刈り作業以外には絶対に使用しないでください。

本機は雑草を刈るために設計・製造されています。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

こんなときは運転をしないでください。

- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により、正常な運転操作ができないとき。
- 若年者・18才未満の人。
- 妊娠している人。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

子供や取り扱いの指導を受けていない人には使用させないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

取り扱いの指導を受けていない人や扱いに不慣れな人には本機を貸さないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

足場が不安定なところや雨天等で滑りやすいとき、夜間や霧等で視界が悪いときは作業をしないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。



飛散防護カバーは必ず所定の位置に取り付けてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■ 使用の前に

◆機械の点検

⚠ 危険



燃料の補給はエンジンが冷えていることを確認してから行ってください。

燃料の補給やエンジンの手入れをしているときは、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけないようにしてください。補給中に燃料をこぼしたときはウエス等で十分に拭き取ってください。

※ 燃料に引火し、ヤケドや火災等を引き起こすおそれがあります。



⚠ 警告

刈刃は、確実に取り付けられているか、目立はどうか、損傷はないかを確認し、異常がないことを確認してから使用してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

飛散防護カバーは必ず取り付けてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意

混合比を間違えないでください。

2サイクルエンジンですので、燃料は自動車用無鉛ガソリンと2サイクル用エンジンオイルを混合し、よく混ぜ合わせて使用してください。

※ 混合比を間違えると、エンジンの焼き付きや摩耗を起こすおそれがあります。



各部のゆるみがないか、オイル、グリス、燃料が入っているか、燃料漏れがないかを点検し、異常がないことを確認してから使用してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆作業場所の点検

⚠ 危険



本機の作業者から15m以内を危険区域とし、この中に作業者以外の人が入らないようロープで囲う、立て札を立てる等の警告をしてください。

数台同時に作業するときもこの距離は守ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意



空缶、針金、小石等の有無を確認し、ある場合は取り除いてから作業してください。

※ 破損した刃の破片の飛散等により、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆作業時間

⚠ 注意



長時間連続して作業をしないでください。

30分作業したら、10~20分休憩してください。

国有林では、作業者の健康管理のため下記のとおりです。

- 1回の連続作業時間 30分以内
- 1日の作業時間 2時間以内
- 1週間の作業日数 5日以内
- 1ヶ月の作業時間 40時間以内

※ 疲労により、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆エンジンの始動

⚠ 注意



屋内では始動しないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。



エンジンを始動するときは、周囲（15m以内）に十分注意し、刃は地面に触れないようにしてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

始動は燃料補給場所とは異なるところで行ってください。

※ 燃料に引火し、ヤケドや火災等を引き起こすおそれがあります。

始動するとき、スロットルレバーはアイドリングの状態にしてください。

※ 刃が回転し、傷害事故を起こすおそれがあります。

回転を上げる場合は急激に上げず、徐々に回転を上げてください。

※ エンジンの急加速は機体への悪影響や、傷害事故につながる場合があります。



排気を吸わないよう注意してください。

※ 排気ガスによる中毒を起こすおそれがあります。

■ 移動時

⚠ 注意



自転車やオートバイの荷台に載せて移動しないでください。

※ 機械が落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



本機を移動するときは、必ずエンジンを停止してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

トラック等の荷台に本機を積み、移動する場合は、動かないようにしっかりと固定してください。

※ トラックから機械が落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



■ 作業時

⚠ 危険



作業状態のまま急に振り向かないでください。

後ろから声をかけられた場合、必ずエンジンを一時停止してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

エンジンがかかっているときは絶対に刈刃や飛散防護カバーに触れないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

作業中は点火プラグキャップ部、高圧線に触れないでください。

※ 電気ショックを受ける可能性があります。

エンジン停止後は、マフラーが熱いので枯草等燃えやすい場所へ、絶対置かないでください。

※ 枯草等に引火し、ヤケドや火災の原因になります。

⚠ 危険



危険を感じたときは直ちにエンジンを停止するか、機械を身体から離してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

異常な振動・音を感じたときには、すぐにエンジンを停止し各部の点検修理をしてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

ハンドルは、両手でしっかり握り、両足に平均に体重がかかるよう適当に開いてご使用ください。

※ 転倒、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

足を滑らせて転んだときや穴に落ち込んだときは、必ずスロットルレバーを戻し、回転を止めてください。

※ 転倒、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



燃料は、引火しやすいので注意してください。

※ ヤケドや火災の原因になります。



⚠ 警告



草刈作業以外に刈刃を回転させたり、水や土を切ったりしないでください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

エンジン始動・運転中・停止直後は、しばらくはエンジン本体、マフラー等に触れないでください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

飛散防護カバーは絶対外さないでください。

飛散防護カバーは必ず所定の位置に取り付けて作業してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。



刈刃は必ずメーカー指定の純正部品を使用してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。



⚠ 注意



作業中に立ち話は絶対しないでください。

話をするときはエンジンを止めてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意



作業を始めるときは、足場・周囲の状況をよく確認してから、ゆっくり始めてください。
刈刃部に草等が巻き付いて刈刃が停止した場合は、必ずエンジンを停止してください。
回転が止まつたことを確認してから草等を取り除いてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

ハンドル等をしっかりと握ってください。

エンジンが回転すると逆方向に力がかかる場合（スラスト）があります。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

2人以上で作業する場合は呼笛等で、合図の方法をあらかじめ決めて、合図の徹底を図ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

作業者に近づく場合は、合図をしエンジンが停止したことを確認してから、必ず前方から近づいてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

草刈作業は、足場のよいところで、正しい姿勢でバランスを取って行ってください。

※ 転倒し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

エンジンの回転速度をむやみに上げず、メーカーの推奨する回転速度を守ってください。

※ 無理な空ぶかしは機械の寿命を縮める原因になります。

スロットルレバーはゆっくり操作してください。

※ エンジンの急加速は機体への悪影響や、傷害事故につながる場合があります。

刈刃は石や切株等の硬いものに当てないようにしてください。

万一、当たったときは、すぐにエンジンを停止し、刈刃に異常がないかを確認してください。異常があった場合は作業を中止し、新しい刈刃に交換してください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

場所を移動するとき、刈払機を地面に降ろすとき、作業を中断するときは必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■ 作業後

◆ 使用後の手入れ

⚠ 警 告



各部の締め付けネジのゆるみがないか、刈刃に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

草刈ローラーの接地部分の摩耗状態を確認し、部材肉厚が薄くなっている場合は交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点検整備・給油等は必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

高温部の清掃をするときは、冷えてから行ってください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



◆ 保管

⚠ 注意



燃料を保管する場合、ポリ容器は使用しないでください。

※ 1カ月以上ポリ容器に入れておくと燃料が腐ります。

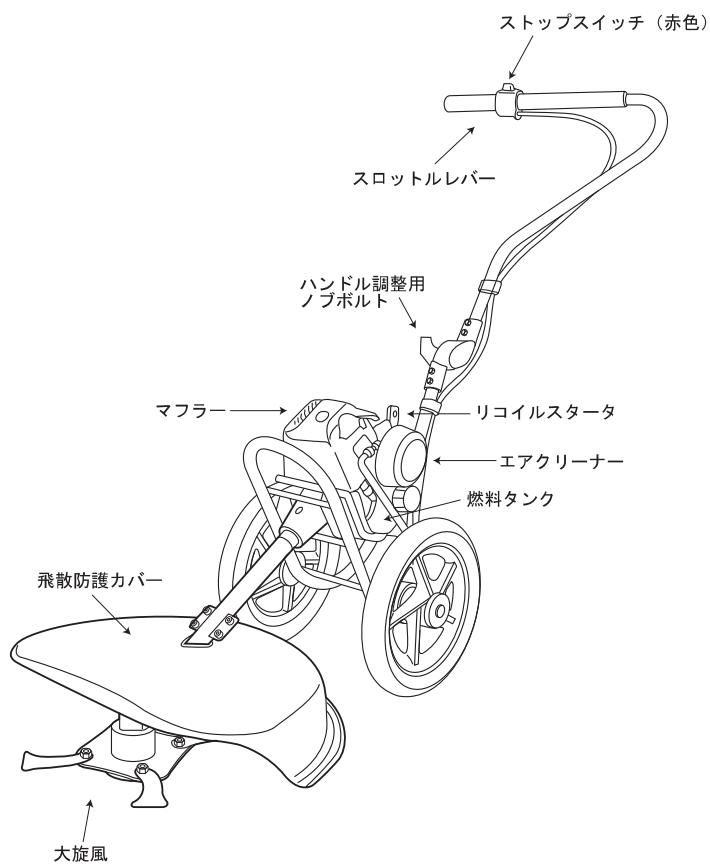


子供の手の届かないところに保管してください。

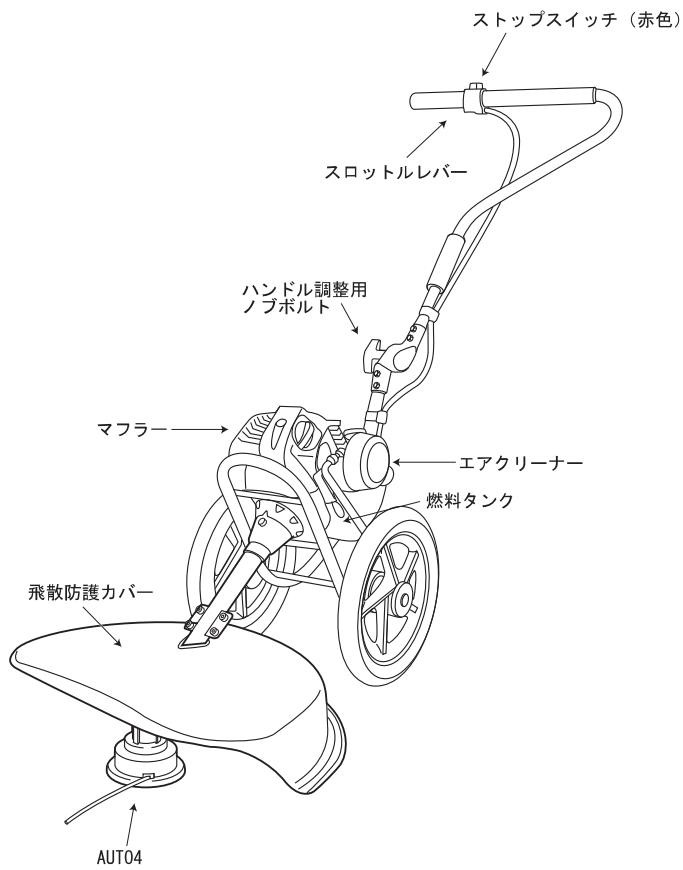
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

2. 各部のなまえ

MP262



MP331



3. 組立て

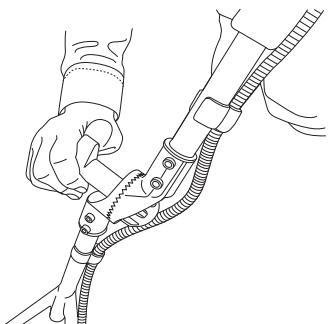
3.1 本機の取り付けと調節

■ ハンドル

◆ハンドルの調整

ハンドルの高さ調整用ノブボルトを緩め

使いやすい位置にハンドルを起こしてノブボルトを締め込みます。



■ 刈刃

⚠ 危険



専用の刈刃以外を絶対に使用しないでください。

※ 傷害事故につながるおそれがあります。



刈刃は決められた部品と工具で確実に締め付けてください。

※ 締め付けが不完全だと、作業中に刈刃が外れ、傷害事故につながるおそれがあります。

刈刃は、良く切れる状態か、刃こぼれ、曲り割れ等がないか点検してください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意



刈刃は石や切株等の硬いものに当てないようにしてください。

万一、当たったときは、すぐにエンジンを停止し、刈刃に異常がないかを確認してください。異常があった場合は作業を中止し、新しい刈刃に交換してください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。

刈刃の取り付け・取り外しのときは、手袋をして作業してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

◆刈刃の仕様

- MP262 専用の大旋風をご使用ください。
- MP331専用のAUTO4をご使用ください。

◆取り付け MP262

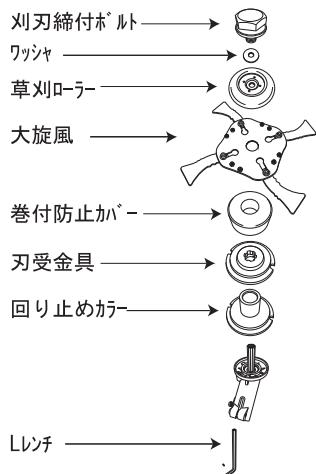
1 次の順序で取り付けます。

- (1) 回り止めカラー
- (2) 刃受金具
- (3) 卷付防止カバー
- (4) 大旋風
- (5) 草刈ローラー
- (6) ワッシャ
- (7) 刈刃締付ボルト

2 Lレンチで刃受金具を固定します。

- Lレンチでギャケースの回り止め穴と、回り止めカラーの回り止め穴で固定します。

3 回り止めカラーが固定されていることを確認し、ソケットレンチで十分に刈刃締付ボルトを締め付けます。



◆取り外し

取り付けと逆の手順で実施してください。

◆取り付け MP331

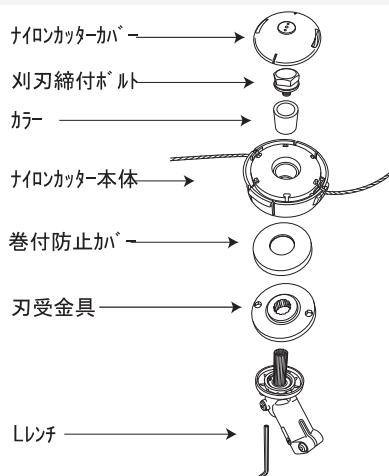
1 次の順序で取り付けます。

- (1) 刃受金具
- (2) 卷付防止カバー
- (3) ナイロンカッターボディ
- (4) カラー
- (5) 刈刃締付ボルト
- (6) ナイロンカッターカバー

2 Lレンチで刃受金具を固定します。

- Lレンチでギャケースの回り止め穴と、刃受金具の回り止め穴で固定します。

3 刃受金具が固定されていることを確認し、ソケットレンチで十分に刈刃締付ボルトを締め付けます。



◆取り外し

取り付けと逆の手順で実施してください。

4. 始業前点検と試運転

4.1 定期刊検表と注意事項



警 告



各部の締め付けネジのゆるみがないか、刈刃に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点検整備・給油等は必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

高温部の清掃をするときは、冷えてから行ってください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

機械の寿命は、手入れの良否によります。下記の表の項目について点検整備を行ってください。

4.2 始業前点検

■ エアクリーナエレメントの汚れ

エアクリーナエレメントの汚れは、始業前に点検を行ってください。

■ ボルト、ナットのゆるみ点検

ボルト、ナットのゆるみは、始業前に点検を行ってください。

■ 燃料漏れ点検

燃料漏れは、始業前に点検を行ってください。

■ 刈刃締付ボルトやその他ネジのゆるみ、損傷

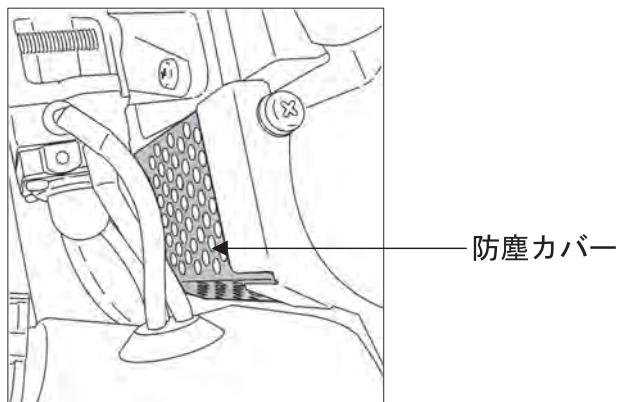
刈刃締付ボルトやその他ネジのゆるみ、損傷は、始業前に点検を行ってください。

■ 刈刃の切れ味、ひび割れ、偏心、偏摩耗

刈刃の切れ味、ひび割れ、偏心、偏摩耗は、始業前に点検を行ってください。

■ 防塵カバーの清掃 MP262

防塵カバー附着したゴミを取り除いてください。



■ 燃料の補給

!**警 告**



燃料の補給はエンジンが冷えていることを確認してください。

燃料の補給やエンジンの手入れをしているときは、絶対にタバコを吸ったり、火気を近づけないようにしてください。補給中に燃料をこぼしたときはウエス等で十分に拭き取ってください。

※ 燃料に引火し、ヤケドや火災等を引き起こすことがあります。

!**注 意**



ガソリンとオイルをエンジンのタンクに直接入れて混ぜ合わせないでください。

別の容器で十分混ぜ合わせてから給油してください。

※ 十分に混合されない場合があり、エンジンが焼き付く等のおそれがあります。

古い混合油は使用しないでください。

※ 始動不良、出力不良等のおそれがあります。また、キャブレタが詰まる原因になります。

使用燃料は、ガソリンと2サイクル専用オイルの混合油です。

混合する割合（混合比）は下表を参照してください。

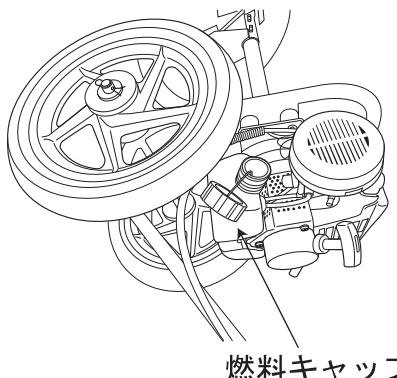
混合比	ガソリン	2サイクル専用オイル
50 : 1	50	1 (FC級以上)

1 給油口が上に向くように本機をたおします。
(MP262)

2 燃料キャップを開けます。

3 混合油を給油口から入れます。
● あふれない程度に入れてください。

4 燃料キャップを閉じます。



4.3 試運転と調整

⚠ 注意



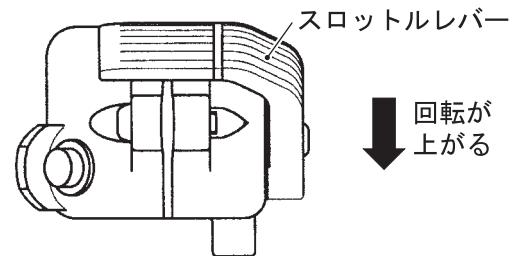
キャブレタの調整はむやみに行わないでください。

※ 始動・加速不良やエンジンの焼き付き等、故障する原因になります。

1 エンジンを始動します。

2 1~2分程度暖機運転をした後、振動・異音等に注意しながら徐々にスロットルレバーで回転を上げます。

- 特に、刈刃の付近に異常・ガタツキがないか注意してください。

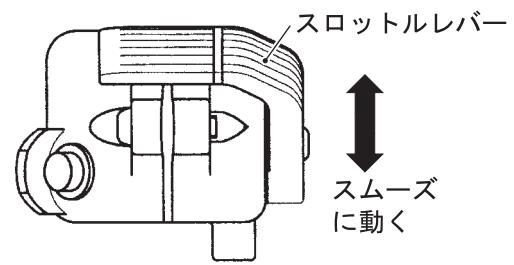


3 スロットルレバーを全閉にし、刈刃が回転しないエンジン回転数まで下がることを確認します。

◆エンジン回転が下がらない場合

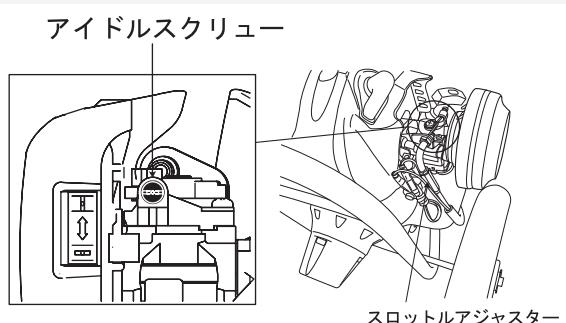
1 スロットルワイヤがキャブレタやスロットルレバーにきちんと差し込まれており、スロットルワイヤがスムーズに動き、キャブレタが全閉まで戻るか確認します。

- 全閉に戻らない場合、スロットルアジャスターを調整してください。



2 上記の調整後、アイドルスクリューで刈刃が回転せずエンジンが止まらず安定する程度に、エンジン回転数を下げます。

- 右に回す …… 回転数が高くなる
- 左に回す …… 回転数が低くなる



5. 移動と作業前準備

5.1 移動するとき

⚠ 注意



自転車やオートバイの荷台に載せて移動しないでください。

※ 機械が落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



本機を移動するときは、必ずエンジンを停止してください。

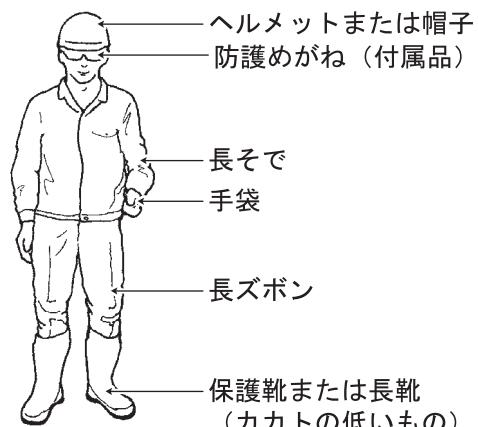
※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

トラック等の荷台に本機を積み、移動する場合は、動かないようにしっかりと固定してください。

※ トラックから刈払機が落下し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

5.2 作業時の服装

- 服装は、きちんとした活動的なものを着用し、ヘルメットおよび防護メガネまたは顔面防護ネット等を必ず着用してください。
- 保護靴またはこれに準ずる靴を着用し、すね当てを併用してください。
- 丈夫ですべりにくい手袋を着用してください。だぶついた袖口の服装や手ぬぐい等は、木の枝等突起物に引っかかり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 長時間作業のときは、耳栓を必ず装着してください。数人で作業を行う場合、緊密に合図をし合うため呼笛を携帯してください。



6. 運転方法

お願い

運転方法の詳細については、別冊「エンジン取扱説明書」をお読みください。

⚠ 警告

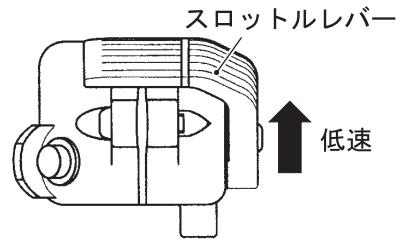


エンジン始動・運転中・停止直後は、しばらくはエンジン本体、マフラー等に触れないでください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

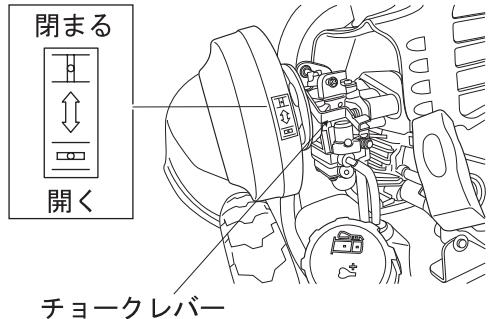
6.1 始動のしかた

- 1 スロットルレバーを「低速」位置にします。



- 2 チョークレバーを全閉位置にします。

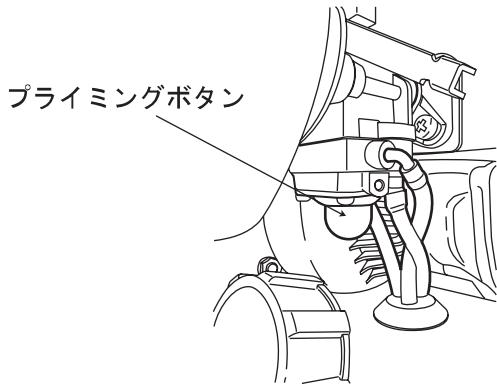
- エンジンが暖まっているとき(運転停止後、およそ 15 分まで)は、チョークレバーを全開位置にしてください。



3

プライミングボタンを指で上に当たるまで繰り返し押します。(10回以上)

- 少ない操作の場合、始動不良になることがあるので、十分行ってください。
- プライミングボタンを押すのは、燃料をくみ上げ、始動を容易にするためです。
- くみ上げた余分な燃料はタンクに戻る構造になっています。そのため、プライミング操作を多く行っても吸い込み過ぎ状態になりません。

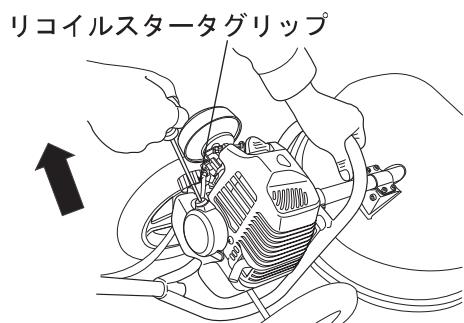


4

本機を押さえ、リコイルスタータタグリップを握り、引っ張ります。

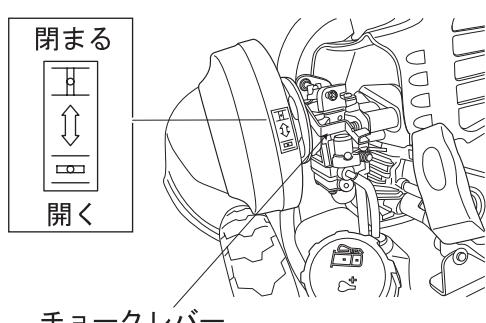
次の場合は、チョークレバーを「全開」位置に戻し、リコイル操作をしてください。

- エンジンは始動したが、途中でストップした場合
- 7~8回までリコイル操作しても、エンジンが始動しない場合



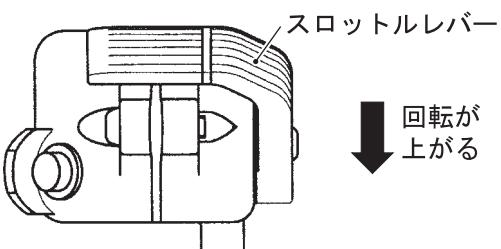
5

エンジンが始動したら、エンジンの調子を見ながら徐々にチョークレバーを全開位置にします。2~3分間暖機運転をします。



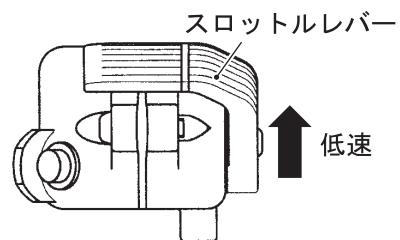
6

エンジンの調子を見ながら、使用したい回転速度にスロットルレバーを動かします。



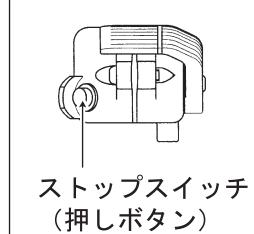
6.2 停止のしかた

1 スロットルレバーを「低速」位置にします。



2 ストップボタンをエンジンが完全に停止するまで押してください。

 引き続き後の作業がない場合は、燃料タンクの燃料を抜き取ってください。その後、再始動して気化器内の燃料を使い切ってください。



7. 操作方法

⚠ 危険



刈刃で打つ、たたく等の方法で作業をしないでください。

※ 刈刃の破損や傷害事故を引き起こすおそれがあります。



ハンドルは、両手でしっかりと握り、両足に平均に体重がかかるよう適当に開いてご使用ください。

※ 転倒、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 警告



エンジン始動・運転中・停止直後は、しばらくはエンジン本体、マフラー等に触れないでください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。



キックバックに注意してください。

高速回転している刈刃が、石や樹木、杭、コンクリート等、硬くて切れない固定物に触れた際に、刈刃部がはね返されるキックバックが起こります。

※ 機体が思わず動きをするため、正常な操作ができなくなり、傷害事故を引き起こす原因になります。また、刈刃が損傷したり、障害物が砕けたりして破片が飛散するおそれがあります。

⚠ 注意



作業を始めるときは、足場・周囲の状況をよく確認してから、ゆっくり始めてください。

刈刃部に草等が巻き付いて刈刃が停止した場合は、必ずエンジンを停止してください。

回転が止まったことを確認してから草等を取り除いてください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

ハンドル等をしっかりと握ってください。

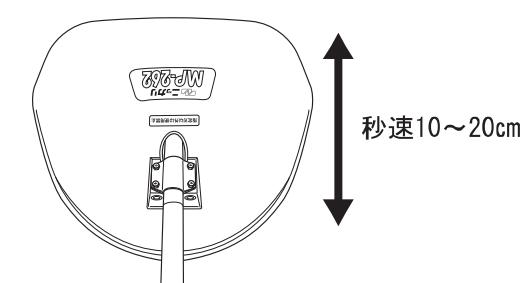
エンジンが回転すると逆方向に力がかかる場合（スラスト）があります。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

草刈作業は、足場のよいところで、正しい姿勢でバランスを取って行ってください。

※ 転倒し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- (1) 機体は前後に押し引きして草を刈ります。
- (2) 早いスピードで刈払機を動かさず秒速 10~20 cm以内の早さで草を刈ります。
- (3) 低速では草を刈れません。8000rpm 以上で使用してください。
- (4) MP262は25cm以上の草は刈らないでください。
過負荷により機械が破損するおそれがあります。



8. 作業終了後

！警告



各部の締め付けネジのゆるみがないか、刈刃に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

草刈ローラーの接地部分の摩耗状態を確認し、部材肉厚が薄くなっている場合は交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点検整備・給油等は必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。

※ 傷害事故を引き起こすおそれがあります。

高温部の清掃をするときは、冷えてから行ってください。

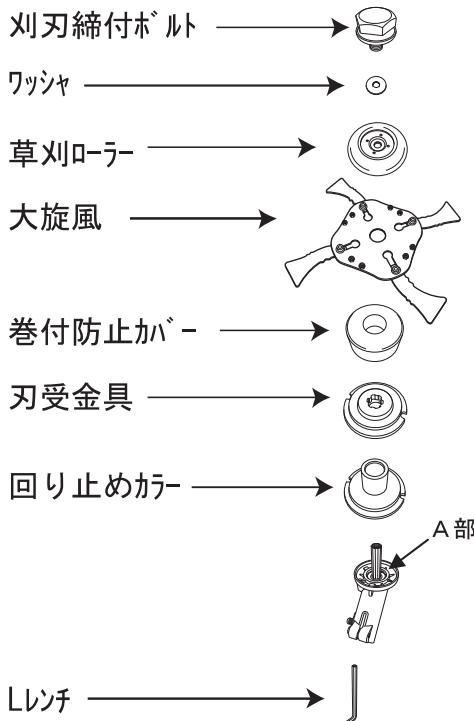
※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

1 刈刃締付ボルトを外します。

2 草刈ローラー等すべての部品を外します。

3 ギヤケースのギヤシャフトの回りのゴミ
(土、砂、草片) をきれいに掃除します。
(右図 A 部)
ギヤシャフトに草、ナイロンヒモ等が巻き付
いている場合もすべて取り除きます。

4 清掃後は、元の状態に組付けます。



9. 点検整備

9.1 定期点検表と注意事項

⚠ 警告



各部の締め付けネジのゆるみがないか、刈刃に損傷がないかを点検し、ネジのゆるみがあれば締め付け、刈刃に損傷があった場合はメーカー指定の純正の刈刃と交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすことがあります。

草刈ローラーの接地部分の摩耗状態を確認し、部材肉厚が薄くなっている場合は交換してください。

※ 傷害事故を引き起こすことがあります。

点検整備・給油等は必ずエンジンを停止してから行ってください。

※ 傷害事故を引き起こすことがあります。

部品を交換する場合は、必ずメーカー指定の純正部品をご使用ください。

※ 傷害事故を引き起こすことがあります。

高温部の清掃をするときは、冷えてから行ってください。

※ ヤケド等、傷害事故を引き起こすことがあります。

機械の寿命は、手入れの良否によります。下記の表の項目について点検整備を行ってください。時間数は標準的な目安です。負荷状態や使用環境によって適宜増減してください。

項目	使用時間	10 時間	20 時間	50 時間	参照ページ
草刈ローラーの点検・交換	目視・交換	○			27
点火プラグの清掃と調整	目視・清掃・調整		○		28
エアクリーナエレメント清掃	目視・清掃		○		28
ギヤケースのグリス補給	目視・補給		○		28
ボルト、ナット等の増し締め	目視・調整			○	29
カーボン除去	目視			○	29
気化器の点検、清掃	目視・点検・清掃			○	29
遠心クラッチ、ライニング面の点検	目視・点検			○	29
燃料フィルタの清掃	目視・清掃			○	29

- 修理、調整をするときはエンジンを停止し、2次コードをプラグから外してください。
- その他複雑な調整・修理はお買い上げ先にご相談ください。

9.2 10時間毎点検

■ 草刈ローラーの点検・交換

⚠ 警告

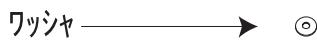


草刈ローラーは早めに交換してください。

※ 草刈ローラーの地面に接する部分の摩耗が進み、極限に達すると、脱落・飛散するおそれがあります。

草刈ローラーは消耗部品です。使用する条件により異なりますが、10時間程度の使用を交換の目安としてください。

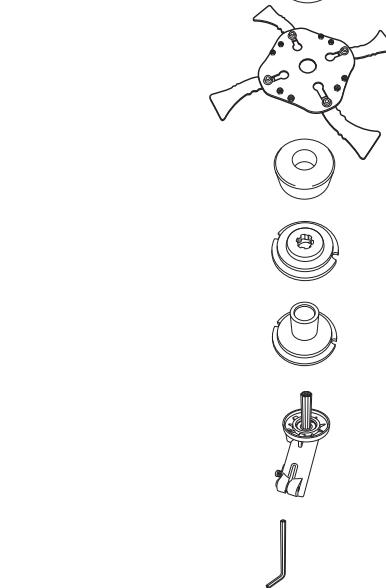
1 戻刃締付ボルトとワッシャを外します。



2 草刈ローラーを交換します。

声) 交換手順は、「戻刃」(図 13、14 ページ) を参照してください。

3 戻刃締付ボルトを締め付けます。



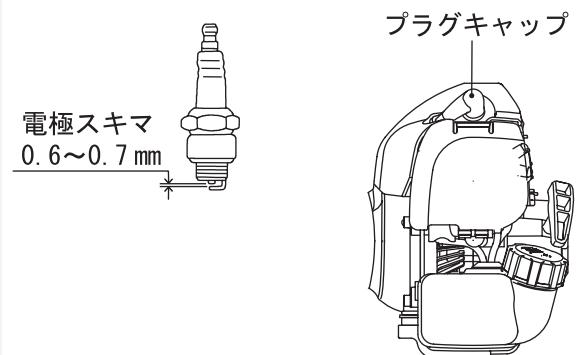
9.3 20時間毎点検

■ 点火プラグの清掃と調整

点火プラグは、20時間ごとに清掃、調整を行ってください。

電極およびガイシ部に堆積しているカーボンを清掃してください。その後、電極スキマを0.6~0.7mm（官製ハガキ3枚の厚み）に調整します。

〔音〕 取り付け時、プラグキャップは確実に押し込んでください。

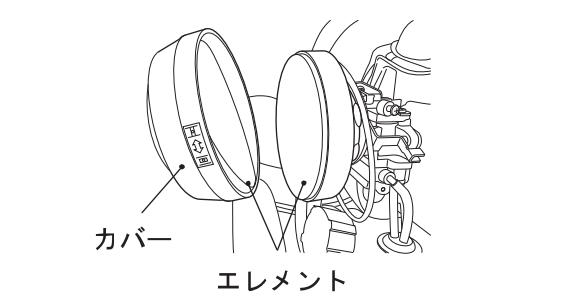


■ エアクリーナエレメントの清掃

エアクリーナエレメントは、20時間ごとに清掃を行ってください。

エレメントを白灯油で洗浄後、エンジンオイルに浸し片手で固く絞ってください。

〔音〕 清掃後は、取り外したカバーは元のとおり取り付けてください。



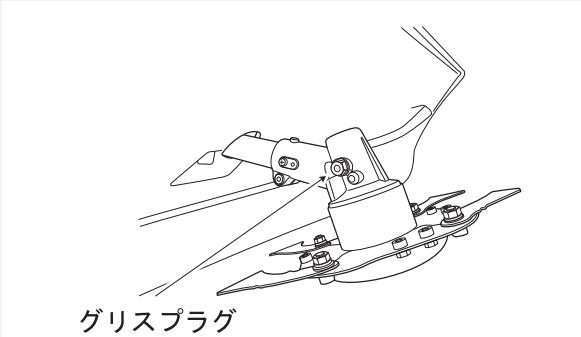
■ ギヤケースのグリス補給

グリスは日本石油 New Molynoc Grease No.2相当のものを20時間ごとに補給してください。

1 グリスプラグを取り外します。

2 グリスを注入します。

3 グリスプラグを取り付けます。



9.4 50 時間毎点検

■ ボルト、ナット等の増し締め

ボルト、ナット等は、50 時間ごとに増し締めを行ってください。

■ カーボン除去

カーボン除去は、50 時間ごとに行ってください。
マフラー出入口、シリンダ、ピストンのカーボンを除去します。

 この作業は、エンジン整備の技術および道具を要します。お買い上げ先へご相談ください。

■ 気化器の点検、清掃

気化器は、50 時間ごとに点検、清掃を行ってください。

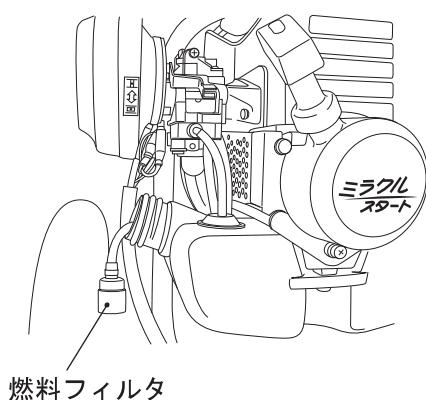
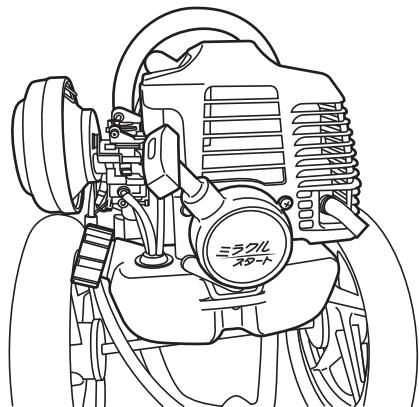
■ 遠心クラッチ、ライニング面の点検

遠心クラッチ、ライニング面は、50 時間ごとに点検を行ってください。

■ 燃料フィルタの清掃

燃料フィルタは、50 時間ごとに清掃を行ってください。

針金等で燃料注入口から引き出してきれいな白灯油で洗浄します。汚れがひどいときは、フィルタを交換の上、タンク内も洗浄します。



10. 保管

！注意



燃料を保管する場合、ポリ容器は使用しないでください。

※ 1ヶ月以上ポリ容器に入れておくと燃料が腐ります。



子供の手の届かないところに保管してください。

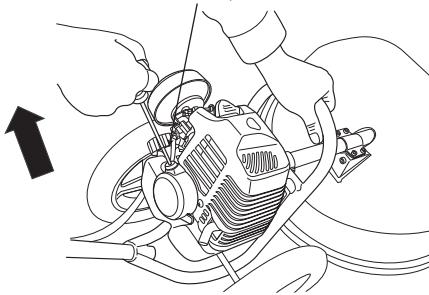
※ 傷害事故を引き起こすことがあります。

エンジンが十分冷えていることを確認してから直接日光の当たらない、湿気やホコリの少ない場所に保管してください。

10.1 日常の保管

- (1) 各部を十分に清掃し、金属部分には発錆防止のためオイルを薄く塗ってください。
- (2) 燃料タンク、キャブレタに残っている燃料は全部抜き取ってください。
- (3) 点火プラグを取り外し、プラグの穴から少量のオイルをシリンダに流し込み、リコイルスターを数回引きオイルが行き渡るようにしてください。
- (4) リコイルスターを引っ張って圧縮のあるところ（重くなったところ）で止めてください。
- (5) 損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納してください。

リコイルスター タグリップ



10.2 長期保管

- (1) 2週間以上使用しない場合は、燃料タンク、キャブレタ内の燃料を全部排出してください。
 - キャブレタ内の燃料を抜くには、タンクの燃料を抜いた後、エンジンを始動させ低速のままでは、自然にエンジンが停止するのを待ちます。
- (2) エアクリーナを清掃すると同時に各部の汚れを取り除いてください。
- (3) 点火プラグ取付穴より2サイクルオイルを数滴注入し、2~3回リコイルスターを引っ張り、ピストンヘッドが最もプラグに近い位置でプラグを装着してください。

11. 故障と対策

整備・修理をするときは、必要以上に分解せず、早めにお買い上げ先にご相談ください。

現象	原因	対策	参照ページ
始動しない	燃料切れおよび不良燃料	燃料補給・交換してください。	17
	燃料フィルタ目詰まり	清掃してください。	29
	始動操作ミス	エンジン始動方法の確認してください。	20
	点火プラグ不良	交換してください。	28
	キャブレタ不良	交換が必要です。 お買い上げ先へご相談ください。	—
出力不足	スロットルワイヤ調節不良	調節してください。	18
	エアクリーナの目詰まり	清掃してください。	28
	マフラーにカーボンが堆積	清掃してください。	29
	防塵カバーの目詰まり	清掃してください。	16
振動が大きくなる	刈刃のバランス不良	交換してください。	14
	刈刃の取り付け不良	取り付けの確認をしてください。	14
	各部のゆるみ	増し締めが必要です。 お買い上げ先へご相談ください。	—
	駆動軸の曲がり	交換が必要です。 お買い上げ先へご相談ください。	—
排気音が大きくなる	マフラーのゆるみ	増し締めをしてください。	—
エンジン回転刃正常だが刃物の切れが悪い	サイズの大きい刃を付けている	正規のサイズに交換してください。	14
	刃の摩耗	新しい刈刃に交換してください。	14
エンジン回転を落としても刈刃が止まらない	キャブレタ調整不良	スロットルワイヤアジャスタを調整してください。	18
エンジン回転を上げても刈刃が回転しない	駆動軸の折損	交換が必要です。 お買い上げ先へご相談ください。	—
	ギヤの摩耗	交換が必要です。 お買い上げ先へご相談ください。	—

12. 付表

12.1 主要諸元

■ MP-262

種類	モップ式（車輪付）草刈機
型式名	MP262
乾燥重量 (kg)	9.0
全長 (mm)	1240
全幅 (mm)	560
全高 (mm)	935 (ハンドル格納時 530 mm)
防振装置	ハウジング防振
ストップスイッチ	押しボタン
クラッチ方式	左
刈刃回転方向	左
標準刈刃	大旋風
標準装備品	保護メガネ
エンジン	三菱メイキエンジン TU26PFD
総排気量 (cm ³)	25.6
使用燃料	潤滑油混合ガソリン
混合比	50 (ガソリン) : 1 (2 サイクルオイル) —— FC級オイル使用時
燃料タンク容量 (λ)	0.6
化気器	ダイヤフラム式
点火方法	無接点式マグネット点火
点火プラグ	BM6A
始動方式	リコイル式 (ミラクルスタート)

※ 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

■ MP-331

種類	モップ式（車輪付）草刈機
型式名	MP331
乾燥重量(kg)	9.6
全长(mm)	1230
全幅(mm)	560
全高(mm)	945 (ハンドル格納時 535 mm)
防振装置	ハウジング防振
ストップスイッチ	押しボタン
クラッチ方式	左
刈刃回転方向	左
標準刈刃	AUTO4
標準装備品	保護メガネ
エンジン	三菱メイキエンジン TB 33P FD
総排気量(cm ³)	32.6
使用燃料	潤滑油混合ガソリン
混合比	50 (ガソリン) : 1 (2サイクルオイル) —— FC級オイル使用時
燃料タンク容量(λ)	0.8
化気器	ダイヤフラム式
点火方法	無接点式マグネット点火
点火プラグ	BM6A
始動方式	リコイル式 (ミラクルスタート)

※ 改良のため予告なく仕様を変更することがあります。

13. 保証とアフターサービス

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、お買い求めの販売店へお申し付けください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い求めの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：納品した日から 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、この刈払機の補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

「11. 故障と対策」に従ってご確認のあと、なおらないときは、お買い求めの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は、保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理ご相談窓口

お買い求めの販売店またはお近くの当社営業所にお申し付けください。

ご連絡いただきたい内容（購入時、記入しておくと便利です。）

品 名	
型 式	
機 番	銘板に記載
お買い上げ日	年 月 日
お買い求めの販売店名	TEL () -
故障の状況	できるだけ具体的に

当社連絡先

西大寺事業所 〒704-8125 岡山市東区西大寺川口 465-1 TEL. 086-943-0051
国内営業部 〒704-8125 岡山市東区西大寺川口 465-1 TEL. 086-943-0061 FAX. 086-943-0405
西日本営業所 〒704-8125 岡山市東区西大寺川口 465-1 TEL. 086-943-0062
東日本営業所 〒331-0811 埼玉県さいたま市北区吉野町 1-389-9
TEL. 048-664-5771 FAX. 048-666-3790
九州営業所 〒839-0863 福岡県久留米市国分町二ノ江 1172-4
TEL. 0942-21-9718 FAX. 0942-21-1676

株式会社 **ニッカリ**

URL <http://www.nikkari.co.jp/> E-mail kokunai@nikkari.info

※ 所在地や電話番号は変更になることがあります。



MEMO



MEMO



MEMO

